

## 豊川市新しい夏の市民まつり 第3回実行委員会 議事録

- 1 件 名 豊川市新しい夏の市民まつり第3回実行委員会
- 2 日 時 令和5年11月13日（月）午後2時00分～午後3時30分
- 3 場 所 豊川市防災センター（1階）市民研修室＜豊川市役所本庁舎東側＞
- 4 出席者 32名（大会長1名・副大会長3名・実行委員長1名・副実行委員長2名  
委員9名・監事2名・顧問3名・事務局11名）

大会長：1名

竹本大会長

副大会長：3名

小野副大会長・與藤副大会長・真田副大会長

実行委員長：1名

笠原実行委員長

副実行委員長：2名

増田副実行委員長・長谷川副実行委員長

委員：9名

林委員・竹内委員代理（権田）・田中委員・中村委員代理（樋口）・

太田委員代理（太田）・大島委員・神谷委員・寺部委員・鈴木委員

監事：2名

木藤監事・川村監事

顧問：3名

石川顧問・杉浦顧問代理（中村）・岩瀬顧問

事務局：11名

平賀・鈴木・小木曾・杉浦・木村・望月・加藤・竹内・安形・小原・村上

受託者：5名

(株) ドーマン・アイシー：粥川・林

アスカプランニング：伊藤

(株) サンデーフォークプロモーション：酒向

加藤煙火(株)：加藤

5 傍聴者 5名

6 欠席者 6名(副大会長1名・委員4名・事務局1名)

副大会長：1名

今泉副大会長

委員：4名

石黒委員・伊藤委員・大場委員・柿野委員

事務局：1名

若生

7 内容・特記事項

◆**大会長(豊川市長)あいさつ**

8月の豊川80周年夏まつりは、天候の悪化もあったが、無事に終了できて何よりであったと思っている。

アンケート結果より、あいさつが長かったのご意見もあったので、来年は短くしていこうと思っている。

今回のイベントは、予算が限られていたが、来年は本開催であるので、皆さんに楽しんでもらえるものにしていきたい。委員の皆さんには忌憚のない発言をお願い申し上げたい。

◆**実行委員長あいさつ**

総じて、イベントが無事に開催できたことはよかった。喜んでいただける市民の姿や、イベントで大勢が集まって楽しむ姿をみて、価値を改めて感じた。その反面、夏の時期という気候でのイベント実施の厳しさ、花火を扱うという安全性の担保等、課題も多くみられた。来年の本イベントは市民の期待に応えて、素晴らしいものにして、市民の皆さんに喜んでいただきたい。

安全性が第一だとは思っているが、事業規模も大きくなり、企業協賛も数千万円を予定し、有料席の設置も考えている中で、今まで以上にそれぞれが満足できるようなまつりとなるように、知恵を絞らなければいけない。

手筒まつりは、商工会議所を事務局として、30年に渡り実施してきたが、平成30年を最後に一旦終了した。すぐにでも再開したいと思っていたが、手続き・組織の違い等もあり、行政が受け継いで行うのは難しいことだというのがよく分かった。だからこそ、実行委員会というチームで改めて新しい市民まつりを作り上げていくことが大事であると思う。今回は、全く新しいことをやろうとしており、今までの事例が通用しないこともある。事務局・受託者もよくやっている中で、実行委員会をはじめとする各諸団体や各関係機関の皆様がオール豊川で臨むことが大切である。いよいよここからがスタートと思うと同時に、皆さんで作りに上げていきたいと思っている。よろしくをお願いしたい。

#### ◆議事（協議）

（1）令和5年度「豊川80周年夏まつり」について〈報告・協議〉・・・資料：1

事務局：資料：1-1について説明

受託者：資料：1-2について説明

事務局：資料1-3について説明

出席者：意見等なし。

（2）令和6年度「新しい夏の市民まつり（仮称）」について〈協議〉・・・資料：2

受託者：資料：2（令和5年度振り返り）について説明

委員長：まずは、皆さんのご協力により、豊川80周年夏まつりというイベントが成功に終わったのではないかと評価している。

予想外にミュージック花火はよかったという声もあったし、打ち上げ花火はもっと欲しかったという声もあった。

天候面に関しては、実行委員会側も不安があり、長い目で見た時には改善の余地があるかなと問題提起があった。来年度について、時期は既に決定しているため、その時期に合った対策を取っていく必要がある。また、市民参加については、ますます工夫が必要になってくる。

最後にコンセプトの明確化が必要であると思う。アンケート結果も半分の方が満足したという結果ではあるが、厳しく見た方がいいかと思っている。来年度は、多くの予算を使うにあたって、市民の方が満足いただくためには、もう一歩コンセプトの明確化が必要である。

今年度の振り返りの内容説明・報告を受け、ご意見などあればお願いしたい。

委員：当日は実行委員長のあいさつ後、土砂降りになってしまった。来年度に向けても天候には気をつけて実施していかなければいけない。また、これで満足となってしまっはいけない。満足するとよりよいものはできない。

やはり何の為にまつりが開かれるのかと考えると、三河豊川という観点から手筒煙火が抜けているのは疑問点が残ると思う。来年度は、手筒煙火に期待したい。

委員長：来年度の案に関しては、手筒煙火も実施予定である。また、この様なご意見も

あることを踏まえながら、今後、企画の詳細を考えていきたい。

受託者：資料：2（令和6年度企画案）について説明

委員長：テーマの「オール豊川」について、豊川市は合併を繰り返して一つのまちが形成された歴史がある。各町の歴史・文化なども紹介しつつ、単に花火大会を実施するのではなく、全豊川市民が文化・芸能面でも一体となれるような皆で楽しめる願いを込めて、進めていきたい。

花火・ステージイベントの約2時間を有料イベントとしてどう構成していくかがポイントになる。

自衛隊の方々にご協力をいただいて、今年も打ち上げ花火の打ち上げ場所をご提供いただけることになった。ただし、打ち上げ花火は保安距離等の関係から2号玉までの条件があり、その中でどのような演出ができるのか、また、打ち上げ場所は自衛隊グラウンドということで、ステージとの位置関係が横側になるということもあり、それらも考えていかなければならない。そして、新芝生広場では、5,000席程度の有料席の設置を計画しているが、今まで見たことのない約2時間のコンテンツを「光」と「音」と「炎」の競演で作り上げていきたい。その中で伝統文化である手筒煙火もアピールできると好ましい。そして、17時からの前半部分で、市民参加にて豊川の文化・芸能等の演出・紹介を盛り込めればと思う。

手筒煙火については、加藤煙火（株）で制作いただいて、揚げ手については有志でできればと考えている。

水合戦については、内容はよいが参加者数が少なかったため、大きなコートの中で何回か決戦を行い、できれば企業対抗等の団体戦も行いながら、大人も子どもも参加していただけるような内容にならないかと検討している。

ほぼ半日を無料でも有料でも市民が楽しめるイベントとなるように、まとめてきた。

ご意見・ご質問あれば、ぜひお願いしたい。

委員：企画案は、昼から夜まで通して遊べる、都市型イベントならではよいと思う。自衛隊の協力をいただけるというのも一つの豊川らしさであると思うので、期待をしている。花火については、予算をみると多く予算を割いている感じがしないので、これで盛大という感じになるのかと思う。

委員長：全体予算について説明

受託者：協賛について説明

チケットはマス席2万円程度（暫定）で考えている。パイプ椅子席については、3～4千円程度（暫定）で検討中である。

委員長：他にご意見・ご質問等あれば、お願いしたい。

副大会長：市民のためのまつりというコンセプトの元で、来場者延べ7万人の予想に対して、有料会場に入れるのが5,000名では少ないと感じる。私個人の案としては、水合戦は別の事業・イベントとして別日に実施し、陸上競技場を

開放した方がいいのではと思う。それだけで15,000名程度は入れると思う。現状の案のままでの実施では、不満足という結果が多くなるのではないか。ステージの方向が打ち上げ花火に対して、直角になっている。高齢者の方を想定すると、長時間、直角を向くというのはやめた方がいいと思う。また、会場に合わせて、ビジョンを設置するなどの配慮は必要だと思う。ステージの向きと花火の向きが違えば変えたほうがよいと思う。さらに、今年のまつりでは地面に座って飲食をする人が多かったので、食事等がとれるテント等、休憩スペースを用意してほしい。花火にもっと予算を使ってほしい。市民のためのまつりであるならば、庭球場や陸上競技場のフィールドをオープンにして、ぜひ開放していただければと思う。

委員長：全く同じ意見が、企画会議でも出ていて、改善するつもりであったが、フリースペースについて、資料2には記載されていないか。

事務局：資料2の23ページ、フリースペースの拡充の所に、無料フリースペースについて記載されている。

委員長：現状、開放が可能なフリースペースとして、陸上競技場や野球場のスタンドの活用を検討している。ビジョンの設置については、現在、見積を取っている状況である。

打ち上げ花火がステージに対して直角となる件については、手筒煙火を揚げる場所から観客席までの距離（保安距離）が安全上の観点から35m必要となると、横向き（自衛隊グラウンドを背にした形）でのステージ設置は、新芝生広場のスペースの関係からできない状況である。演出上、両方で見られるという形を作ろうということになっているので、この点についてはご了承願いたい。なお、テニスコートの活用については、現在、調整中である。

委員：手筒煙火について、青年会議所を中心に取りまとめさせていただく予定ではあるが、青年会議所事業は単年度制のため、委員会を活用して青年会議所のOBと現役でメンバーを中心に構成したい。私、樋口が代表となり、各地のまつり、手筒煙火の担い手不足を解消するためにも子ども手筒煙火を含め本事業を実施したいと考えている。手筒煙火の揚げ手を集める、募集の取りまとめなどを行いたいと考えているので、よろしく願いたい。また、手筒煙火と打ち上げ花火について、人件費の予算をつけてほしい。

委員：今年度のイベントは準備時間が少なかったこともあり、忙しかった。

水合戦について、ルールが厳しいと感じた。もっと多くの子どもたちが遊べるようにしてほしい。皆で遊べる様なラフなものでもいいのではないか。有料席から右を向いて、打上げ花火をみるのはどうなのかと思う。この点は検討した方がいいのではないか。スタッフが丸となってまつりを実施している印象を受けなかった。スタッフの意識の共有・醸成が必要であると感じる。

副大会長：今年度は、豊川駐屯地としては、打ち上げ花火場所・駐車場を支援させていただいた。その上で、今年状況を自衛隊の方で総括をすると駐屯地の中で打ち上げ花火の2号玉を揚げると風向きによっては、保安地域まで影響を及

ぼすという事が分かった。来年度以降は、2号玉については、駐屯地の中、特に南側はご遠慮いただこうと思い、自衛隊訓練場（自衛隊グラウンド）をご提案させていただいている。その他の花火、都市型花火については、駐屯地内でも受け入れられると思う。自衛隊訓練場（自衛隊グラウンド）の打ち上げ場所を北側によせて位置を変えれば、一部道路を封鎖する形になるかもしれないが、2号玉以上（3号玉）の花火を揚げられる可能性あるのではないかと考えている。駐屯地としても、皆さんに楽しんでいただける様に自衛隊員も一緒に参画できればと思う。

委員長：心強いご意見をいただいた。今後ともご協力をよろしくお願いしたい。

副大会長：市民の皆さんは、手筒煙火・打ち上げ花火・水遊びイベント等それぞれ期待しているものが違い、それがアンケートの結果に出ていると思う。そのような不満は、市民まつりの周知・PRの仕方を見直せば減らせるのではないかと考える。個人的には、今年ミュージック花火はとてもよかった。この様に新たに楽しめるものが出来れば、市民まつりも盛り上がりが出てくるのではないかと考える。私共もまつりの成功のために協力体制をとっていききたいと思う。

委員長：大変、心強いご意見をありがとうございます。

### （3）今後のスケジュール等について〈協議〉・・・資料：3

事務局：資料：3について説明

出席者：意見等なし。

#### ◆総括

大会長：様々なご意見をいただいた。事務局としてもしっかり受け止めていきたいと思っている。

今年度は、第4回実行委員会が2月に予定されているので、本日のご意見等をなるべく反映できるようにしたい。特に花火に予算をつけてほしいという意見もあったので、検討を加えていきたい。

市民まつりが全ての人に満足されて、受け入れられる様に事務局としても頑張っていきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

#### ◆その他

司会：その他、皆様方よりご意見・ご質問等はあるか。

出席者：意見等なし。

司会：ご意見・ご質問等があれば事務局までお願いしたい。